

びふか 議会 です

こんにちは。

2020年5月
北海道／美深町議会



「さくら咲けよ」と春を待つ

第1回 定例会	補正予算・条例制定・改正	2～3ページ
予算 特別委員会	新年度予算が決まりました	4～8ページ
一般質問	ここが聞きたい 4議員	9～13ページ
委員会報告	ふるさと納税の現状 社会教育・生涯学習の充実と課題	14ページ
私からの メッセージ	私のこれまで 故郷に戻ってきて	瀬尾 研一 松尾 徹也 16ページ

第113号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の動きをご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

令和2年度
予算成立

耐震校舎で安心の学びが

仁宇布小中学校建替

第1回定例会

3月2日に開会した第1回定例会は、一般会計補正予算や条例の制定・改正を審議。また一般質問は高齢者の生きがい作りや山村留学など4議員が行い、会期中に予算特別委員会で新年度予算、総務住民常任委員会で条例制定の付託審査も行われ18日に閉会しました。

主な質疑

一般会計補正予算
4800万円が基金へ

一般会計補正は年度末を控え、各事業確定に伴い2214万円の減額補正となりました。またふるさと納税の増加に伴い各基金に積み立てられました。

主な質疑は次の通り。

ふるさと納税

質問 ふるさと納税の基金積立について、目的別基金として受け取り納税者への報告をしっかりと進めることが必要ではないか考え方は。

総務G 寄附金の募集は12項目のメニューで目的別に納付いただく仕組みで進めてきた。いったんまちづくり応援基金に入れて寄附額の割合に応じて来年度事業に振り分けし活用していく。

質問 来年度は1億円の予算見込みだが、寄附をいただいた方への報告は、ことこまめに情報を伝えていくことが交流人口やリピーター拡大にもつながり、大切ではないか。

企画G

主幹 件数の少ないときにはそのような対応をしてきたが、数が増加し事務量が多くなったことで対応が追いつかず、ホームページでお知らせすることにどまっている。今後どのような方法があるのか検討すべき点もある。

保健師・看護師

質問 保健師等養成修学資金の貸し付けについて、まず、借りてもらうことが大事であり魅力ある額にする考えは。

保健福祉G

主幹 3年前に増額した経緯がある。厚生連にも貸付制度があり、かなりの額になるので現状では増額の考えはない。

酪農ヘルパー

質問 酪農ヘルパーを雇用できずに減額となっているが好転する兆しはあるのか。

農業G

主幹 なかなか就業につながらない実態がある。JAでも募集の工夫はしており、応募は数件あるが面接で採用に至らない結果もあり、続けて募集していく。

質問者

岩崎・藤原
和田

今回の主な補正内容(一般会計分)

補正前の額	補正額	補正後の額
55億6,243万円	2,214万円	55億4,029万円
まちづくり応援基金積立金		4,111万円
地域福祉基金積立金		120万円
障害者介護・訓練等給付費		△2,367万円
保健師等養成修学資金貸付金		△312万円
道営農業農村整備事業負担金		△849万円
チョウザメ産業振興基金積立金		280万円
美深高校卒業生奨学基金積立金		230万円
学校図書等整備基金積立金		70万円
学校給食食材料費		△195万円

健康被害調査の条例

備えて安心に

総務住民常任
委員会付託審査

「美深町予防接種健康被害調査委員会条例の制定」

美深町が実施した予防接種において健康被害が発生したとの申し出があった場合、因果関係を調査する委員会を設置する条例。

審査では委員会の内容や、事故が発生した場合の対応などについて質疑が行われた結果可決すべきものとして本会議で委員長報告の後、全員賛成で可決されました。

原案可決 全員賛成

権利の適正化



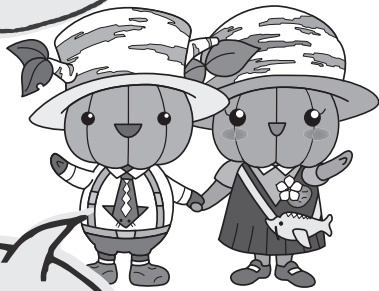
「美深町印鑑条例の一部改正」

成年被後見人等であっても意思能力がある場合、印鑑登録ができるようになり、成年被後見人の権利の適正化が図られることとなります。

本人の申し出があっても意思能力がないものと判断した場合、印鑑登録はできない内容。

原案可決 賛成多数

Q これまで事故が起こったことはあるのかな。



A 美深町では発生したことはないけれど、準備はしておかないとね。

決議を採択

「民族共生の未来を切り開く」決議

提出者 小口 英治
賛成者 藤原 芳幸・岩崎 泰好

昨年、アイヌ新法が成立し、ウポポイの開設を機にアイヌの人々の誇りが尊重される社会の構築と北海道が魅力ある大地であり続けるためにも、すべての道民がその一歩を進めていかなければならない。

よって、美深町議会は、アイヌの歴史や文化の正しい理解と相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現が図られるよう、「民族共生の未来を切り開く」決意をここに表明する。



原案可決 全員賛成

令和2年度予算審査

3月16日・17日に行われた予算特別委員会では、新規事業で仁宇布小中学校の建替や草地畜産基盤整備事業、「道立北の森づくり専門学院」の実践研修に伴う宿泊施設整備費などが盛り込まれ、活発な審議が行われました。



中野 勇治 予算特別委員長

令和2年度予算総額71億1,059万円

地域支援事業

高齢者の生活上での困りごとの調査をもとに、支援体制の仕組みづくりを進めます。



西団地建替事業

本年度はD棟を解体し2棟4戸を建設。4年計画で8棟16戸を建設します。

草地畜産基盤整備事業

良質粗飼料の確保と自給飼料の増産を図るため、飼料生産基盤の整備を行います。
(整備を行う恩根内放牧場)



デマンドタクシー
吉野・斑浜・富岡・西里・
紋穂内地区の公共交通対策
で運行を継続します。



仁宇布小中学校建替事業

地元産木材を使った木造校舎とし、事業費総額は4億7,700万円あまりとなり、来年3月完成予定です。

用語解説

3Rとは？

- 1つめのR(リデュース)とは、物を大切に使い、ごみを減らすことです。
必要ない物は買わない、もらわない 買い物にはマイバッグを持参する
- 2つめのR(リユース)とは、使える物は繰り返し使うことです。
詰め替え用の製品を選ぶ いらなくなったものを譲り合う
- 3つめのR(リサイクル)とは、ごみを資源として再び利用することです。
ごみを正しく分別する ごみを再生して作られた製品を利用する



平成30年から供用開始となったごみ埋め立て処分場(名寄市)。計画を上回る搬入量で、炭化ごみ同様に搬出量の抑制が課題となっている。

総合計画 第1章

自然環境と調和する 安全・安心なまち「美深」

広域ゴミ処理負担金

質問

町政執行方針には「3Rを推進する」とあり、炭化ごみ処理の実績割負担を下げるための減量対策が必要ではないか。

生活環境G

ゴミ排出量の抑制を目標としているが、具体的な内容は持っていない。住民には啓蒙等で意識改革も進めながら、できることを検討したい。

地域公共交通協議会

質問

地域公共交通活性化協議会の交付金が減っているが、協議する課題は多くあるのではないか。

企画G

実証運行から本運行になったことにより、必要な予算を組んだ。

企画G

会議は年一回で課題を協議するが、専門部会等の中で必要があれば協議の場を持つ。

移住就業支援金

質問

どのような内容か。

企画G

移住定住商工観光係長 住の応援

情報サイトを利用し、東京圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県から23区に通勤している人)から移住、就職した人に支援金が渡される内容。

公営住宅入居基準

質問

公営住宅入居時に保証人が必要だが、移住してきた場合、保証人を探すのが難しい。

建設水道課長

民法の保証人に対する解釈が変更になり、条例整備をする準備をしている。

災害備蓄品

質問

備蓄品リストにマスクを加えるべきではないか。

総務G

備蓄したい。ただ、今は購

入できる状況にないの
で、状況を見て対応す
る。

質問者

岩崎・荒川
藤原・田中
小口・和田
五十嵐

総合計画 第2章

資源をいかす 活力に満ちたまち「美深」



4月に旭川に開校した道立学校。北海道内各地の森林を利用して多彩な実習を行い、森林づくりに関する幅広い知識と確かな技術を習得する。美深では天塩川自然学校を宿舍に実習を行う。

北の森づくり専門学院

質問

美深町での実践研修宿舍として天塩川自然学校を使用することとなっているが、経緯とスポーツ合宿やエアリアル事業など所管との打ち合わせはしているのか。使

用料など最低限の取り決めは。

建設水道課長

すでに打ち合わせをおこなっており、管理運営は従来通りびふかスポーツクラブになっている。



広がりを見せているドローンを導入した農薬散布

建設林務G 光熱費
耕地林務係長 洗濯代な

どは学院から徴収する。負担が増える場合は学院と協議を行う。

畑作振興事業

質問

経営の多角化 ICT技術導入が町内でどれくらい取り組まれているか。また農業支援塾のスマート農業に関する取り組み実績は。

農務課長

各農家が自動操舵やドローンを導入した農薬散布など取り入れている。今後はどのように考えていくか協議していく。

農業振興センター所長

支援塾から講師を呼び、塾生に加えて間口を広げ実習も含めて研修を行った実績がある。

チョウザメ振興事業

質問

チョウザメ飼育管理費の内容と現状から振興計画に変更を加えないのか。

企画G

主に施設飼育委託や施設にかかる光熱水費、餌代も含まれている。振興計画

については収入の方が計画を下回り、原因として稚魚の生産技術が安定していないことが考えられ、今年度は稚魚の生産技術を確立させ計画に沿った形でいきたい。

質問

人材が入れ替わる現状にあって安定した人材の確保が必要であり、今後の考えは。

企画G

北海道大 学や、水産試験場含め人材確保の協議を進めていく。

中小企業支援事業

質問

新型コロナウイルスにより飲食店などサービス業界

総合計画第3章

次代をつくる人を育てるまち「美深」

学校給食事業

質問

学校給食費の予算増額の要因は。

学校給食センター長

会計年度任用職員制度の運用に伴う人件費増と食材費の高騰が要因。

の経営が厳しくなってくるが、今後の考えは。

企画G

中小企業商工観光係長 業融資保証料等補給事業などで対応していく予定だが、長期化するなど対策が必要になれば相談していきたい。

質問者

藤原・岩崎 荒川・和田 小口・田中

英語教育推進事業

質問

英語教育推進担当者配置に893万円の計上があるが、どの様な任務か。配置による成果と英語検定の実績は。

教育G

予算額は1名の人件費で、平成29年に英語教育推進研究会を立ち上げ30年に推進計画書を策定

し、更に令和4年をめぐりに幼児センターから高等学校までA-LTを含め一貫性を持たせた内容にする。

英語検定の成果は、令和5年度中学卒業時で目標60%合格を目指しており、今年度は22%であった。

学校施設整備事業

質問

仁宇布小中学校解体設計委託料はどういう内容か。また建築に伴う財源、償還はどのような計画か。

教育G

校舎外壁にアスベスト含有があり、その除去費用を積算。

総務G

借入れ 3億5千万円は償還が12年の過疎債で計画しているが、当町の財政事情を考えると25年程度の学校整備の適用が有利であり、4月以降の北海道とのヒアリング状況で確定したい。



伝承遊学館での展示のようす
各年代に合わせた収集・展示など工夫を

郷土資料室展示事業

質問

請願による学芸員配置はされず、他自治体の学芸員、郷土研究会等の指導を仰ぎながら努力する旨の報告があったが、郷土資料の収集・企画展等の現状はどうなっているのか。

教育G 主幹

企画展等の実施はない。町の歴史に分断がないよう、重要な物の収集に向け努力する。

教育活動・研究推進事業

質問

学力向上に向けた取り組みをどう構築するか。

教育G 主幹

各学校において調査研究はしており、補習、放課後の指導、読解力向上に向け努力している。

画計 第4章 総合

健康で明るく 暮らせるまち「美深」

各種検診・予防対策

質問

実施状況と目標値の達成は。

保健福祉G 保健係長

集団検診の実績

は高齢者が例年通りで、個人検診は若年層の受診が課題である。がん検診は減少傾向で、高齢者や子育て世代に配慮した検診を進めていく。国の計画目標値の50%達成は厳しく、休日検診・クーポン券等

教育次長

11月に教育委員と共

に各学校を訪問し、課題に対しての協議を行った。コミュニケーション・スキルの協議の中でも課題解決に向け更なる努力をする。

質問者

田中・岩崎
和田・藤原
小口・荒川

開業医誘致

により利用促進を図る。

質問

開業医誘致予算の使い方とその効果は。

保健福祉G 参事

ホームページに

バナーを張り付けたり、業界誌等に掲載し周知を広げている。美深町出身の関係者にも声掛けしていく。

ピロリ菌検査

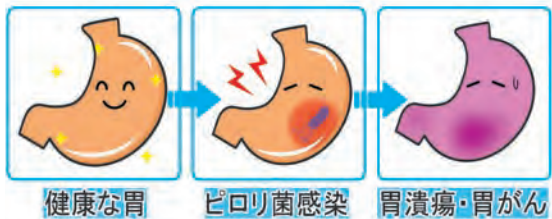
質問

バリウム検査とセットでピロリ菌検査を実施しているが、バリウム検査を受けなければ検査を受けられない現状で、リスク検査として単独の実施はできないのか。

保健福祉G 副主幹

A B C
ピロリ菌

検査が昨年度40名(血液検査31名と便検査9名)。国の胃がん検査のガイドラインとしてバリウム検査、胃力メラ検査となっている。リスク検査としてはピロリ菌検査のほかに子



宮がん検査等があるがガイドライン外での検査となり、実施するかは検討中。

中核病院と厚生病院

質問

中核病院としての厚生病院運営補助金が拡大するなか、町負担の今後は。

保健福祉G 主幹

入院患者数の減少が収益の減少につながっている。ベッド数52床に対し平均入院者数が36床前後の状況。経費圧縮により赤字拡大を抑えている。受診してもらえない病院となるのが、重要と思われる。

町長

安心・安全のため、厚生病院は維持していく必要がある。そのため、厚生連と調整し中核病院の観点からも、現状維持はやむをえない。

質問者

荒川・岩崎
名取

みんなでつくる
心かようまち「美深」

高齢者買い物支援

質問 買い物支援宅配サービスの利用状況と今後の展開は。

企画係長 本年2月

企画係長 末の登録者が105名で延べ782件と利用が伸びている。今後も民生委員と協議しながら内容を検討していきたい。

地域おこし協力隊

質問 募集する協力隊が担当する内容は。

企画係長 チョウザメ飼育の担

企画係長 募集する協力隊が担当する内容は。

企画係長 チョウザメ飼育の担

企画係長 チョウザメ飼育の担

企画係長 チョウザメ飼育の担



いよいよ稼働する
辺溪のチョウザメ屋外水槽

当で採用したい。知識も必要な業務になるの

で北大と連携して、長期的な人材となることも視野に入れた募集にしたい。

北大との連携事業

質問 本年度、予定している連携業務の内容と、屋外水槽稼働予定は。

企画係長 例年同様

企画係長 ふ化・検卵等を行い、互いの知識や技術の向上に繋がる。雪解け後、屋外水槽への導水準備をすすめるが、現在放流する魚の選定調査を行なっている。稼働すれば北海道大学七飯淡水魚センター以上の設備となる。

行政経営

質問 今後、町の起債と償還・地方交付税の推移をどう見

質問者 岩崎

質問者 藤原・荒川

質問者 田中・小口

質問者 岩崎

質問者 藤原・荒川

質問者 田中・小口

質問者 岩崎

質問者 藤原・荒川

込んでいるのか。

総務G 新年度は財政係長 学校建設の起債があり、債務が7億6千万円に増加する

が、来年度以降は4億円、償還は6億円前後になっていく見込みで、債務の内訳は交付税措置がある過疎債と臨時財政対策債で、今後は債務を減らすことも可能と考える。

交付税については国の事業に左右されるので、額を見極めるのは難しく、年々厳しくなる状況にある。

副町長

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

副町長 今後は老朽化した施設の維持費や整備計画も考慮しなければならず、町の現状を把握し、第6次総合計画を創り上げていく。

総括質疑

会計年度任用職員

質問 フルタイム会計年度任用職員に移行する職員への対応は。

町長 制度上の課題もあるが、なるべく早い段階で正職員化できるよう努力したい。

コロナウイルス対策

情報発信は 町は対策本部を立ち上げ、国道の対応情報が防災端末機等で発信されたが情報量が少なく、町民に対し行動指針となる情報を出すべきでないか。

町長 混乱を起ささないよう配慮した情報発信にしている。コロナ対応の詳細は美深町広報3月号に掲載した。

経済支援は

質問 相談窓口は24時間体制が必要ではないか。

町長 今すぐにはならないが、検討に値するものと考え

町長 影響が大きい町内業者へ緊急経済対策が必要ではないか。

町長 国・道の対応を見極める。町単独の対策は限りがあり、状況を見ながら検討を加え万全を期していく。

質問者 中野・岩崎

質問者 中野・岩崎

質問者 中野・岩崎

質問者 中野・岩崎

質問者 中野・岩崎

一 般 質 問

4名の議員が町政を問う！



名取 明美 議員
人生100年時代における
高齢化と少子化への対応について



藤原 芳幸 議員
仁宇布、山村留学の
これからの展望について



岩崎 泰好 議員
子どもたちの声を
まちづくりに活かす方法を求めて。
町政執行方針・教育行政執行方針から



五十嵐 庄作 議員
新型コロナウイルス感染症の
対応について

一般質問とは

各議員が美深町の行財政全般にわたり町行政当局の考え方や疑問点を質すことで、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果としては、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

① 人生100年時代における高齢化と少子化への対応について



名取 明美 議員

問 少子化対策として
子育て支援月額3万円支給は

答 第6次総合計画で効果的な
少子化対策を検討

質問

厚生労働省の「人生100年時代構想会議中間報告」によると、2007年に日本で生まれた子供の半数が107歳より長く生きると推計されており、日本は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。人生100年時代をより充実させるための「高齢者の生きがいづくり」について、高齢者の経験や能力を活かしながら社会の力となるよう、家事・育児、生きがいヘルパーや日常生活の便利屋など、新たな視点による「生きがい就業サービス」の仕組みづくりは考えられないか。

町長

高齢者の生きがいづくりとして、体操やレクレーションを中心としたサロンが各地域で行われており、一定の効果を感じている。しかし、参加されない方の対策に課

題があり、社会福祉協議会を中心に、高齢者の様々なニーズにこたえるため、多様な内容のサロンを試みている。

この他、社会福祉協議会の生活支援コーディネートと連携し、高齢者の困りごとに対する有償ボランティアによる生活支援サービスの創設を検討中である。元気な高齢者がその担い手となることで生きがいづくりにつながるものと考えており、子育て世代に対するサービスの展開も視野に入れ、検討していきたい。

質問

少子化問題解決するには、産み育てる環境づくりが重要で、子どもの脳の成長は3歳までに80%にも達すると言われている。親が不安を抱かずに育児に専念できるように、経済的な不安を緩和する美深町独自の「子育て支援手当」3歳まで一人月額3万円（商品

券を支給）の創設は考えられないか。また、育児は精神的・体力的にも大変であり、その悩みをサポートする家事や育児に関わるヘルパー制度は作れないか。

町長

子育て支援にの幼保一元化による幼児教育の支援や乳幼児等医療費助成など経済的な支援の充実を図っている。子育て支援手当の創設については、

他自治体では出産祝金などがあるが、ばらまきのとの議論もあり、慎重に検討する必要がある。家事や育児のヘルパー制度については、

実際にどのようなニーズがあり、どのような支援が必要なのか、体制整備を含めた課題がある。生きがい就業サービスによる子育て支援が可能かなど、第6次総合計画等の中で、効果的な少子化対策を検討・協議していきたい。



ちびままじかん tetotetoの様子



藤原 芳幸 議員

① 仁宇布、山村留学のこれからの展望について

問

「日本一の山村留学の里」を
目指しては

答

実績を活かし地位向上を

質問

教育委員会では、山村留学が美深の特色ある教育と位置づけてきた。他の町の山村留学と特徴的な違いは何か。その情報をホームページに掲載し充実を図るべきではないか。

教育長

仁宇布小中学校の特徴は、規模が小さいことで小学一年生から中学三年生までの児童・生徒の異学年交流が日常的に

行われ、教育的効果が大きく授業や行事を通して大きな成長を遂げることができると環境で、先生はマンツーマンに近い中で自由度が高く、きめ細かい指導ができることも大きな特徴になっている。

また全国各地の子どもたちを迎え入れてきた実績があり、現在各自治体が進めようとしている地域が一体となって学校教育に係わるコミュニティ・スクールが実践できている環境にもなっている。

情報発信では昨年学校のホームページを刷新し、学校行事や子どもたちの様子をこまめに伝えている。問い合わせも年々増えており、

効果が現れているものと考えている。今後は

質問

卒業生や親の声も伝えたい。
仁宇布の知名度、山村留学の認知度を上げる取組や働きかけを行い、学校改築に合わせ、「日本一の山村留学の里」を目指す目標を掲げ、町が支援している美深高

教育長

留学をしている生徒には美深高校の情報は伝えていて、昨年度は1名の入学者がいて、今年度も1名が入学予定である。今後も成果が上がるよう町の事業と連携したPRを進めたい。

この事業はこれまでの延長ではなく、新たな取り組みも取り入れながら、仁宇布の大自然の中で成長できる山村留学のブランドの向上も目指したい。

学校では「小さな学校の大きな一歩」を合い言葉としていて、今後も学校側と連携して運営をしていく。

学ぶ楽しさ 生きる喜びのある学校 仁宇布小中学校で学びませんか

“仁宇布”って どんなところ？

北海道美深町は、旭川市と稚内市を結ぶ国道40号線のほぼ中央地点にあり、天塩川流域の豊かな盆地となっています。

仁宇布小中学校は、市街地より東方約24km、周囲を山々に囲まれた仁宇布地区にあります。近くには日本最北の高層温泉「松山温泉」(標高797m)や「仁宇布原生保存林」、「仁宇布の湧水・十六滝」があります。仁宇布地区は酪農と畑作の純農村地域ですが、夏にはトロロ王国や農場民宿「ファームイン・トント」を訪れる観光客が年々増えています。

夏から秋にかけては、広大な牧草地で牛や羊が草を食べ、広々とした畑では赤や白の花が満開となります。ここで採れるジャガイモや牛乳、羊乳アイスはとて美味です。そして、白銀の世界となる冬には、北海道の自然の厳しさを身をもって体験することになりますが、春の訪れも肌で感じることができます。

そんな場所だからこそ、地域の人たちとの心温まるふれあいと、澄んだおいしい空気の中で、子ども達は元気いっぱい山村生活を楽しんでいます。そして、多くの卒業生が仁宇布から全国各地に散立ち活躍しています。(「卒業生の声」をHPで紹介しています。)



山村留学のパフレット

① 子どもたちの声をまちづくりに活かす方法を求めて。
町政執行方針・教育行政執行方針から



岩崎 泰好 議員

問 まちづくりに
子どもたちの意見は

答 総合計画策定で
アンケートを実施

町長 町づくりに、
こともから高齢
者まで町民各層から多
くの意見を聞き取り、

質問 町政執行方針
には、「ふるさ
とを大切に思う心やた
くましく生き抜く力を
持ち、これからの地域
を支える人を育てるこ
とは町づくりの基本」、
教育行政執行方針では
「未来社会を切り開く
ための資質や能力、豊
かな心や健やかな身体
を育成するため、教育
の役割は増々重要」と
している。美深町の町
づくりに子ども達をど
のように参画させ、そ
の声をどのように反映
させるのか。子ども権
利条例の制定や子ども
議会の推進、総合計画
策定の中に意見反映を
させる工夫などが必要
と考えるが、町長の所
見を、教育長には、教
育現場からそのような
教育の手法と可能性に
ついて伺う。



大人顔負けの政策発表に
取り組む美深小学校児童
たち
(議会広報112号参照)

町政に反映させていく
ことは、町民が主体の
町づくりを推進するう
えでは大切なこと。
町づくり推進町民会
議、行政評価町民委員
会や各種会議、町長へ
の手紙、町づくり懇談
会など個人や団体の意
見を幅広く聞かせて頂
く場も設け、地域担当
員も配置して、地域の
声を拾い上げるよう心
掛けています。未来を託
す子ども達からの意見、
聴取の機会を、学校教
職員を通して教育行政
関係機関からの意見と
いう形で要望されてお
り、第6次総合計画の
策定に向けても町民ア
ンケートの他、小中学
生に対してアンケート
を実施している。

質問 改めてことも
権利条例の制定
について、考え方を伺
いたい。

問 子ども権利条例の制定は
答 踏み込む勇気がない

町長 新たな仕組み
をつくることは
非常に課題があり、難
しいと思っている。子
ども権利条例をつくる
ことや子ども議会を開
催していくことは今、
踏み込む勇気は持ち合
わせていないのでご勘
弁を頂きたい。

教育長 義務教育の
分野における
国や自治体の仕組みの
学習は、小学校では社
会科、中学校では公民
的分野で学んでおり、
ふるさと教育は、小中
学校ともに総合的な学
習の時間のなかで学び、
学年ごとに単元が計画
され決められた授業時
間の中で、しっかりと
学習に取り組んでいる。
今回の議会広報の取り
組みは、子ども達の生
の声であり、このよう
な手法で国の行政や町
の議会を勉強する良い
機会を与えて頂いた。
職員や議員になりたい
という声も聞いており、
学校と相談してやられ
たという部分について
は一定の評価はする。



五十嵐 庄作 議員

① 新型コロナウイルス感染症の対応について

問

新型コロナウイルスの
対応について

答

休校となり学力維持と
ストレスに配慮

質問

新型コロナウイルス発生について幸いにして本町には未発生であり、いつ発生してもおかしくない状況にある。特に発生抑制にむけ学校も休校しているが、考え方と取り組みについて伺う。

1 点目は子どもたちの勉強への影響について。2 点目は学童保育を再開している話も聞くがどのような状況か。

新型コロナウイルス発生について幸いにして本町には未発生であり、いつ発生してもおかしくない状況にある。特に発生抑制にむけ学校も休校しているが、考え方と取り組みについて伺う。

3 点目は給食センターの食材について報道では苦労している所もあるようだが、当町ではどうなっているのか。4 点目は保護者への支援について、国からいろいろ出てきているが町として出来ることはないのか。あるいは取り組んでいることは。以上4点について教育長に伺う。

教育長

子どもたちの勉強への影響について、北海道教育委員会から各家庭で使用できる学習資料が通知され、休業の影響を少なくする努力が行われている。担任の先生方が一般電話や防災電話を活用し、子ども

たちの学習状況や健康状態を把握するなど著しい遅れが生じることのないよう、家庭学習のためのプリントの配付を行い、各学年の課程の修了または卒業の認定など、進級や進学に不利益が生じないよう配慮する考え方が示され、小学6年生、中学3年生については未履修の部分はないと伺っている。一方、生活リズムの変化やストレスなどの健康面への影響は無いとは言えないが、そのような子どもたちの学習状況や心身の状況の把握、友達や先生方と会えないストレスなどに配慮するため、道内では3月9日以降分散登校を実施する方

向性が示され、本町においても各学校との協議により実施された。学童保育の状況については登録児童総数95名の内8名が利用している。学校給食センターの食材については発注食材の一部キャンセルはあったが、業者に一方的な負担を強いることのないよう協議し、廃棄処分食材は回避できた。

今後の、全町的に想定される問題をどの様に考えているのか町長に伺う。

質問

今後、全町的に想定される問題をどの様に考えているのか町長に伺う。

町長

これまでの町の対応としては、

3月2日に美深町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、情報提供のため、ホームページに特設ページを開設したほか、防災情報端末機・広報などで感染予防に務めるよう周知してきた。幼児センターに行けない、学

校にいけない、介護サービスを受けられない等の不便をかけているが、国・北海道からの休業処置や自粛要請のもと、町としても感染症を広げないよう対策を講じてきた事に理解を頂きたい。今後についてもこれまで通りしっかりと手洗い、咳エチケット等を継続して取り組んでいただき、もし感染者が発生した場合には名寄保健所の指示を受けながら対応にあたりたい。



北海道教育委員会の情報サイト

所管事務調査は、常任委員会に与えられた固有の権限で委員会独自の判断で行うことができます。

条例案の審査やその他議案の立案、課題のある具体的な事務の改善策を研究するための調査が主で、継続審査を行う旨の議決を経て閉会中も調査することができます。

**総務住民
常任委員会**

調査日
令和2年2月14日

調査事項
美深町ふるさと納税の
現状について

まとめ

この制度は、自分の出身地や応援したい自治体に寄附をして地元の返礼品を受け取る制度で、特産品や名産品のPR、地元産業の振興にも繋がるものである。

平成20年から始まっていた制度だが、当初の寄附額は120万～700万円程であったが、28年にインターネットに掲載してから利用者が増え、令和元年には1億5000万円に達した。

寄附する際に応援する事業を指定できる仕組みで、全体の約6割が子どもたちの未来に関係する事業になっている。



扱う返礼品の一例

美深町では返礼品147品目を用意し、人気が高いのは農畜産物で、特に牛肉に人気が集まっている。

利用者の多くは、買い物感覚での返礼品目的と考えられるが、品物ばかりでなく、美深に来てもらう体験ツアーや、町の特色ある教育の一つである山村留学のPRや学校改築の応援企画など利用者獲得に繋がるよう、各担当部局が連携して情報発信の研究を行い、美深町に関心を持つ人、訪れてくれる人が増えることを期待する。

**産業教育
常任委員会**

調査日
令和2年1月20日・21日

調査事項
社会教育の充実、生涯
学習機会の充実の現状
と課題について

まとめ

COMカレッジ110美深大学の学生数は本年度303名で、5年間で19.4%減少し、年齢構成も70歳代から80歳代へ移行し、60歳代の減少が著しい。

学級数は9校の分校があるが、休校や活動内容の減少がみられる。農村部の3校合同の講座は足の確保や運営努力で継続している。近年、体育祭や文化祭への参加が減少傾向にあり、新年の集いは130人で年間活動者は70～80人。イベント的な内容に参加が高く、学習機会は敬遠される現状にある。美深町高齢者保健福祉計画のアンケートでは、地域活動に参加していないのが6割おり、特に男性の不参加率が高い現状。

課題は60歳代以上の対象者をより多く迎え入れる魅力づくりと、それに伴うカレッジの活性化にある。大学設置の目的には「充実した社会生活を送るため、幅広い学習機会をつくり社会貢献活動を通して生き甲斐ある人生観を確立すること」とある。下記に留意して課題解決を見出すよう強く望む。

- ①募集の工夫と仕掛けづくり、創意工夫と改善策。
- ②学生のニーズの把握と満足度の向上。
- ③興味や魅力を繋げる学習機会の再構築や道民カレッジとの連携。
- ④個々の文化活動や趣味の活動も教育課程の選択科目として位置づけを図る。
- ⑤各種サークル活動との連携とポイント制の導入。
- ⑥分校活動には他地域との交流や他地域からの参加を可能とする方策の検討。

議会の動き・予定

- 2/28 議会運営委員会
- 3/ 2 第1回定例会 開会
- 3/ 2 第6次美深町総合計画調査特別委員会
- 3/ 5 議会運営委員会
- 3/ 9 議会広報特別委員会
- 3/12 一般質問
- 3/12 総務住民常任委員会付託事件審査
- 3/16 予算特別委員会
- 3/16 総務住民常任委員会付託事件審査
- 3/17 予算特別委員会
- 3/17 全員協議会
- 3/17 議会運営委員会
- 3/18 議案審議、定例会閉会
- 3/18 議会広報特別委員会
- 3/23 議会広報特別委員会
- 3/31 議会広報特別委員会
- 4/ 2 議会広報特別委員会
- 4/ 7 議会広報特別委員会
- 4/15 産業教育常任委員会所管事務調査
- 4/15 第6次美深町総合計画調査特別委員会評価委員会（産業教育）
- 4/17 議会広報特別委員会
- 4/21 第6次美深町総合計画調査特別委員会評価委員会（総務住民）
- 4/22 第6次美深町総合計画調査特別委員会評価委員会（産業教育）
- 第6次美深町総合計画調査特別委員会運営委員会
- 4/27 議会広報特別委員会
- 4/30 全員協議会
- 5/11 第6次美深町総合計画調査特別委員会評価委員会（総務住民）
- 5/14 議会運営委員会
- 5/14 第2回臨時会



函岳のめ

ふと思う。私が議員になった翌年の3月、恩根内小学校の最後の卒業式。ひたむきな児童の輝くまなざしを今でもはつきりと記憶している。今度はJR恩根内駅の廃止。地方が衰退している現状を国はどう考えているのか。地方の時代というが座して死を待つような環境にさえ思う。

平成7年阪神淡路大震災、23年の東日本大震災、そして新型コロナウイルス。安心安全はもはや神話にさえ聞こえる。

国においては「森友問題」「公文書改ざん」「超高齢化」「財政赤字」「オリンピック」等々課題山積の状況。

わが町においては仁宇布小中学校の建替、がんばる美深農業支援北の森づくり研修宿舎整備等があるが町民の関心事はチョウザメ事業で成功への期待が大きい。予算委員会でも多くの質疑があったが、「まちづくりは人づくり」の感をより強く感じている。

小口英治 記

編集を終えて

一般質問のページは誰の執筆なの？

▼今年の冬は、記録的な少積雪量で「当てが外れた」という人もおりましたが、概ね多くの住民は「多楽」の恵みを楽しみました。

▼春は、一転、コロナウイルスが地球規模で猛威を振るい終焉の兆しが見えない「多難」な生活を強いられています。

▼多難なことは、毎回この広報の編集作業にも発生します。それは、各委員に振り分けられた記事書きの作業です。ヘッドホンを耳に当て、担当の分だけ録音された質疑を繰り返し繰り返し返し聴き、限られた紙面の文字数に合わせた記事に仕上げる作業です。記事に仕上げたものも

のも、数度の編集作業で洗練された文章へと仕上げられて広報紙は完成します。創刊以来変わらず繰り返し返されてきた編集作業風景ですが、唯一、編集作業をしないのは、一般質問のページで、質問者の「思い」を尊重し、本人の編集で与えられた1ページを完成してもらうのです。

▼人は人生を自然現象に例え「止まない雨はない」と表現するようにコロナの一日も早い終焉を。

表紙を飾る人

春



春をテーマに表紙を飾ってくれた2組。
雪解けすぐの六郷地区で夢は「おいしいお米づくり」と稲作農

家を目指す、本田晋広（くにひろ）さん、幸子（さちこ）さん。
（株）美深振興公社でチョウザメ飼育を担当し「チョウザメを大きく育てることが僕の仕事」とキャビア生産にもくもくと挑戦を続けている鈴木渉太（しゅうた）さん。
「やぐら咲けよ」と全てがうまくいくようにと願いながら美深の産業に向き合う姿に春を感じてください。

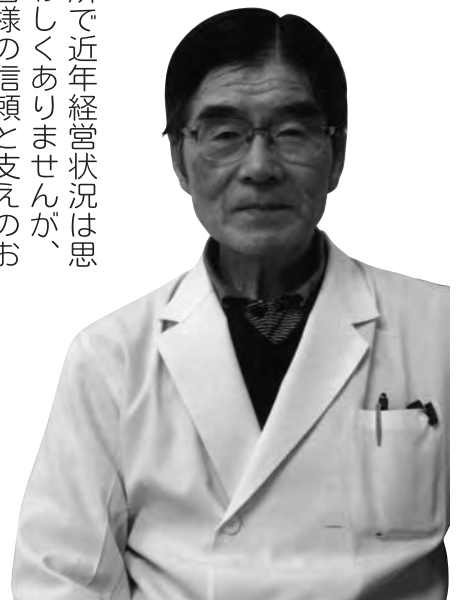
「私のこれまで」

瀬尾研一

私は、昭和16年に東京で生まれ、太平洋戦争中は、石川県の金沢市で8歳まで過ごしました。父は公務員で転勤が多く、小中学校時代は神奈川県や静岡県に住んでいました。高校大学時代は再び東京

で、医学部に入り昭和43年に卒業しました。その頃、大学紛争があり、研修は札幌鉄道病院で行いました。その後、一時東京に戻ったあと、昭和50年に北海道の医療対策協議会の紹介で、中頓別町立病院に勤務、昭和62年に美深町の加来医院の跡を引継ぎ、瀬尾医院を開業しました。月日は飛ぶように過ぎ去り、余生も残り少なくなってきました。無床診療

所で近年経営状況は思わしくありませんが、皆様の信頼と支えのおかげで、今日に至っております。最後に、美深町は過去に日本最低気温を記録した所で、気象学の宝庫です。美深の自然と農産物を全国に宣伝していきたいと思えます。



私からのメッセージ

美深町民のおふたりからメッセージをいただきました。

故郷の美深に戻り、平成21年4月から松尾歯科医院の院長職を継承し、早いもので11年目に突入します。この10年間は本当にあつという間に過ぎ去りました。美深に戻る前は7年程、大学病院の口腔外科に在籍しながら地域の関連病院の口腔外科勤務や開業医勤務の中で、手術手技の習得や様々な治療の経験をさせていただきました。中でも、口腔がんの患者さんと、その家族の方々と接する時間が多かったのですが、診

療や治療以外の場面でコミュニケーションを図る事で、患者さん目の線の思いや、家族の方の考え方などを理解することができ、患者さんからも人生の勉強をさせていたいただいた事は今でも貴重な経験として自分の中に残っていると同時に、現在の自分の診療スタイルに繋がっていると思っております。

「お口から」ということをもっと発信し、微力ではございますが、子どもからお年寄りまで幅広く、皆様の健康増進に寄与していきたいと思っております。

故郷に戻ってきて

松尾徹也

今後は、生まれ育った美深町で地域医療を通して「全身の健康は

